

利用成果報告書

1 課題番号 R5-D23
2 報告者 中村 真男 公益財団法人佐々木研究所

3 利用区分 成果公開有償利用

4 利用課題名 膵がん細胞の糖鎖切断を介した抗体医薬増強薬の開発

5 使用装置名 Leica社製TCS SP8 共焦点レーザー顕微鏡

6 利用期間 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日

7 利用成果・実績の概要 これまでに膵がん細胞表面に存在する糖鎖は、酵素処理で切断が可能であることを見出している。本研究では糖鎖切断酵素を用いて膵がん細胞表面の糖鎖を切断した際に制御される細胞内シグナル伝達系をTCS SP5 IIプリズム分光型共焦点レーザー顕微鏡で可視化解析した。その結果、酵素的に糖鎖を切断することで、膵がん細胞表面に存在する細胞接着分子の特性が変化し、細胞運動に関わる細胞内シグナル伝達系が制御されることを見出した。

8 社会・経済への波及効果 糖鎖切断技術でがん細胞の細胞運動性を制御する新たな治療戦略が生まれる。

9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し

10 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
糖鎖腫瘍マーカー検査と糖鎖改変薬開発の動向	中村 真男	BIO Clinica	R5.8.1	国内